

総合計画・復興計画策定検討部会における審議経過

● 第8回総合計画・復興計画策定検討部会（7 / 28）

【県民意見聴取結果について】

- ・ パブリック・コメント（6 / 11～7 / 10）
意見提出42件　それぞれの意見について、県は対応方針を示した。
- ・ 地域懇談会（6 / 17～6 / 30、7方部各1回）
43名参加（総合計画審議会委員14名参加）
意見数212件　それぞれの意見について、県は対応方針を示した。
- ・ 市町村意見照会
意見提出50件　それぞれの意見について、県は対応方針を示した。

【主な議論について】

- ・ 基本目標について
別紙のとおり。
- ・ 指標について
主な意見は以下のとおり。

- E B P Mを掲げるのであれば、目標値をどうやって設定したか記載すべき。何らかの記載が必要ではないか。
- 目標値の説明を、それぞれ計画の中に書き込むのは多すぎると思う。
例えば、マーケットシェアなのか、競争力なのか、全国平均値によるものなのか、そのようなことを鑑みて設定しているが、詳細は別途資料編を参照のような一般的な表現をどこかに入れるのもいいのではないか。
- 指標にこだわると課題がそこしかないようになってしまうが、あくまで一部分である。
指標はあくまでも課題に対しての一部分という理解の上で出したほうがいい。
- 目標値が「適切に対応する」「上昇を目指す」「減少を目指す」などがあるが、「適切に対応する」はどう理解したらいいか分かりづらい。
目標値が出ていないのはやる気がないと勘違いされるおそれもある。
- 指標は、ベンチマークである以上原則は数値を示すことに意義がある。

新たな総合計画の基本目標について

中間整理案時点の基本目標の4案

【令和12（2030）年度を見据えた基本目標】

＜事務局提示の原案＞

①

やさしさ、すこやかさ、おいしさにあふれる
豊かな地域を共に創り継ぐふくしま

②

かけがえのないふるさとを取り戻し、
やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれるふくしまを
ともにつくり、つなぐ

③

やさしさ、しなやかさ、おいしさあふれるふくしまを
ともにつくり、つなぐ

④

やさしさ、すこやかさ、おいしさを
ともにつくり、つなぐ ふくしま

＜策定検討部会における意見＞

- ① ひらがなより漢字を入れた方がいい
- ② 漢字が入った方が単純に読みやすいが、ひらがなだけにするのであれば、④のような短い形が良い。
- ③ 「かけがいのないふるさとを取り戻す」について、復興は浜通り、避難地域が中心で、その他の地域は復興とは違う別の課題があるだから、復興は浜通りで頑張ってやってという意見の方が多いと思う。だからこそあえてこの文言を入れるべきと考えた。
復興の問題が浜通り地域だけの問題として矮小化されてしまう、風化していくことを避けるために、みんなの目に入る基本目標にあえて入れるべき
- ④ 「かけがいのないふるさとを取り戻す」ということが、「やさしさ」「すこやかさ」「おいしさ」の3つのキーワードの中に、県民が読み取れているかどうか
- ⑤ 「ふるさと」は、ひらがなだと、新しく外から来た人、ここに住みたいと思った人も含めて、今住んでいる地域と言う意味だ感じる。③、④に「ふるさと」という言葉を入れる形でどうか
- ⑥ ①で良いと感じている。やはり、読みやすさ、漢字が入ることで読みやすい。
現状、様々な記載で復興・再生への課題やイノベーション・コースト構想の話など、復興を前提とした内容となっており、全てが復興をしっかりとやる前提での記載となっている。その意味では基本目標は①で良いのではないかという印象を持った。
- ⑦ ひらがな全部はやはり読みにくい
- ⑧ 漢字はある程度入った方がいい
- ⑨ 復興あつての福島と思っていた。ひらがなが多いので、①と②を掛け合わせて、「豊かな地域を共に」を「地域の豊かさを取り戻し」にしてはどうか

新たな総合計画の基本目標について

【意見を踏まえての検討】

検討部会の意見を踏まえ論点は以下の3つに集約できる

論点1 3つのワードは、「やさしさ」「すこやかさ」「おいしさ」でよいか。

→ この部分について、大きく異論はなく、この3つのワードとする。

論点2 漢字を入れるべきか

→ 地域懇談会ではひらがなのみと漢字が入った方がいいという意見は半々、策定検討部会では全て漢字が入った方がいいという意見であったことから、漢字を入れる方向で整理。

論点3 「かけがえのないふるさとを取り戻す」のような復興を想起させる文言を入れるべきか

→ 文章が長くなるという意見もあり、また、基本目標の直下に、【目標に向かうために揺らいではならない前提】として復興が大前提であることを記載することとしており、その記載を目立たせる及びこの文章に「かけがえのないふるさとを取り戻す必要があります」を追加することでどうか。

これらを踏まえ、部会では①でいいのではないかという意見も多かったことから①をベースに最終案を以下のとおり整理する。

○ポイント

- ・ 「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」との関係性を考慮し、「ふくしま」で終わらないよう整理。
- ・ 文章をできるだけ短くする。
- ・ わかりやすくかつ意味が限定されないよう「創り継ぐ」を「創り、つなぐ」とする。

**やさしさ、すこやかさ、おいしさにあふれる
豊かな地域をふくしまを共に創り、つなぐ創り継ぐふくしま**

最終案

**やさしさ、すこやかさ、おいしさあふれる
ふくしまを共に創り、つなぐ**

【目標に向かうために揺らいではならない前提】

この基本目標の達成に向けた様々な取組を進める上で、原子力災害による長期にわたる廃炉作業や環境回復の取組、避難指示の解除や解除後の生活・生業の再生、生活インフラの再生、産業の再生、さらには風評の問題や関心の低下による風化の問題などが着実に解決されていくことが大前提です。この前提がひとたび揺らぐと、本計画が描く将来の姿が根底から崩れる可能性があることから、引き続き、国、東京電力の責任ある対応を求めつつ、国・県・市町村が一体となって復興を進め、かけがえのないふるさとを取り戻す必要があります。